

## 「五つの誓い」

校長 香山 和昭

6月1日（土）、令和となって初めての体育祭が、多くの御来賓の皆様、保護者、地域の方の御来校をいただき盛大に実施することができました。厚くお礼申し上げます。全校生徒が、「威風堂々～探し出せ！光り輝く勝利の鍵～」のスローガンのもと、しっかりとした準備をし、取り組んできた全てを集大成として発揮してくれました。仲間と協力・団結することで得た達成感や感動のレース・演技は、必ず将来に渡って貴重な財産になるはずです。みなさんが一生懸命に取り組む姿は、見ている側にもたくさんの感動を与えてくれました。全てを出し切った語り継がれる体育祭であったと思います。

先月21日（火）には通信陸上地区予選が行われました。陸上部は個人6種目で優勝、男子400mリレーで優勝し県大会への出場が決まりました。おめでとうございます。22日（水）からは、学校総合大会の地区予選が行われました。男子ソフトテニス部は個人戦が準優勝、団体戦でも準優勝し県大会への出場を決めました。おめでとうございます。女子バレー部は予選リーグ最終戦で逆転勝ちし、決勝トーナメントへ進出しましたが初戦で敗れました。4月の県協会長杯バレーボール大会（県大会）で第3位となった男子バレー部は、6月19日（水）～20日（木）に、埼玉北部地区予選を行います。健闘を祈ります。

さて、みなさんは、「命の授業」で有名な腰塚隼人さんを知っているでしょうか。腰塚さんは中学校の先生をしていたある日、スキーの事故で首の骨を折る大けがをしました。幸い、手術で一命は取りとめますが、首から下は全く動かず、担当の医師からは「一生寝たきりか、車いすの生活になるでしょう。」と宣告された腰塚さんは、毎日死ぬことばかり考えていました。

そんな腰塚さんに生きる勇気を与えてくれたのは、周りの方の温かい応援と励ましでした。「何があってもずっと一緒にいるから」と言ってくれる奥さん。「先生、待っているから」と回復を信じ、激励してくれる仲間と生徒たちがいました。腰塚さんは「これからは、いつも笑顔で、どんなことにも『ありがとう』を言おう」と誓います。その後、厳しい困難なりハビリに取り組んだ結果、ついに4か月後、現場復帰を果たすまでに回復しました。

現場復帰に当たって、命があることも生きていくことも当たり前ではないことに気づいた腰塚さんは次の「五つの誓い」を立てました。

<p>口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう！ 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう！ 目は、人のよいところを見るために使おう！ 手足は、人を助けるために使おう！ 心は、人の痛みがわかるために使おう！</p>
--

感動の体育祭を終え、6月は修学旅行（3年）、3 d a y s（2年）が控えています。皆さんが、この「口・耳・目・手足・心」の使い方を心に刻んで、周りの人たちへの「思いやり」と「感謝」の心を持って行動してくれることを願っています。